



平成 19 年 11 月 1 日 No.2007-3
 社団法人 日本放射線技術学会
 中部部会
 事務局：〒920-0942
 金沢市小立野 5-11-80
 金沢大学大学院
 医学系研究科保健学専攻内
 TEL・FAX 076-265-2541
 URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

(社)日本放射線技術学会

第 42 回中部部会学術大会 プログラム(共催 (社)静岡県放射線技師会)

日時： 平成 19 年 11 月 10 日(土), 11 日(日)

会場： アクトシティ浜松コンgresセンター

〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町 111-1

TEL 053-451-1111

URL <http://www.Actcity.jp>

【参加登録費】 会員 2,000 円, 学生無料, 非会員 3,000 円

(研究会のみ参加の場合も参加登録費を徴収させていただきます)

【懇親会】 11 月 10 日(土) 会費 3 000 円(学生で参加する場合も同様)

(学会場から懇親会場まではバスで移動します。 18:15 発, 18:30 発 2 便)

上記登録費, 懇親会費は参加登録受付にて徴収させていただきます。尚, 宿泊ホテルの斡旋は終了いたしましたので各自でご予約下さい。

	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
11月10日(土)			登録受付	各研究会	ランチョン教育セミナー1	開会式	画像特性 CT① MRI	部会年会	教育講演	パネルディスカッション		懇親会
11月10日(日)	登録受付	マンモグラフィ 計測・防護① 計測・防護② RI	シンポジウム1	ランチョン教育 セミナー2	CT② 撮影 US 医療情報	シンポジウム2	閉会式					

11 月 10 日(土)

- 10:00 ~ 参加登録受付開始
- 10:30 ~ 12:00 各研究会
- 12:00 ~ 12:50 ランチョン教育セミナー1
「次世代を担う自立した医療人の人材育成について」
- 13:00 ~ 13:15 開会式
- 13:15 ~ 14:15 一般研究発表
- 14:15 ~ 15:15 部会年会
- 15:15 ~ 16:15 教育講演
「分子イメージングによる腫瘍診断の現状」
- 16:15 ~ 17:45 パネルディスカッション
「CT造影検査の安全確保 - 造影剤注入の安全確保と医療訴訟対策について - 」
- 19:00 ~ 21:00 懇親会

11 月 11 日(日)

- 9:00 ~ 10:30 一般研究発表
- 10:30 ~ 12:00 シンポジウム 1
「計算アルゴリズムの基礎と臨床
- 不均質補正の考え方 - 」
- 12:00 ~ 12:50 ランチョン教育セミナー2
「MRI 診断の将来」
- 13:00 ~ 14:00 一般研究発表
- 14:00 ~ 15:30 シンポジウム 2
「急性期脳梗塞の診断と治療
- Time is brain そのために求められる
技術とは - 」
- 15:30 ~ 閉会式

『やらまいか』の街 浜松へようこそ

第 42 回中部部会学術大会
開催委員長 竹田 浩康

予てよりご案内しておりますように、第 42 回中部部会学術大会を平成 19 年 11 月 10 日(土)・11 日(日)の両日、アクトシティ浜松コンgresセンターにおいて開催いたします。

今回の学術大会は、その前後に大きな学会が予定されているため企画物中心の学術大会を計画しましたが、ふたを開けてみれば 44 題もの演題応募があり、会員の皆様方の関心の高さ、またそれぞれの研究分野における高い志を実感いたしました。さて、今回の学術大会は特にメインテーマを掲げず、限られた時間の中で可能な限り広い分野の知識を吸収する場を提供することに主眼を置き、教育講演、パネルディスカッション、シンポジウム等を企画しました。また、今後の学術大会開催形態の地固めとして、昨年度の学術大会と同様に(社)静岡県放射線技師会との共催形式を踏襲いたしました。

以下、企画物の内容を簡単にご紹介して参ります。教育講演は浜松医科大学放射線医学講座教授 阪原晴海先生に『分子イメージングによる腫瘍診断の現状』と題した講演をしていただきます。パネルディスカッションでは『CT 造影検査の安全確保 - 造影剤注入の安全確保と医療訴訟対策について -』をテーマに、検査に携わる全ての職種(メーカー・医師・看護師・診療放射線技師・弁護士)の方々にそれぞれの立場から意見を述べていただきます。また、これに関するアンケート調査を実施しましたが、かなりボリュームのあるアンケート調査であるにもかかわらず多数の施設のご協力が得られ、お陰様を持ちまして興味深い集計結果が得られました。これについてもご報告いたします。大会 2 日目には二つのシンポジウムを企画しました。一つ目は放射線治療の分野から『計算アルゴリズムの基礎と臨床 - 不均質補正の考え方 -』と言うテーマで、施設間によっても考え方が異なると思われる不均質補正に着目し、その計算アルゴリズムの基礎、計画値に対しての検証の考

え方、臨床医から見た不均質補正の考え方を、計画装置メーカー、医師、診療放射線技師それぞれの立場から述べていただき理解を深めていただきたいと思います。二つ目は『急性期脳梗塞の診断と治療 - Time is brain そのために求められる技術とは -』というテーマで、急性期脳梗塞の診断と治療について、それに関わる医師、また CT、MR、血管造影担当の診療放射線技師の方々に、技術的・人的に現状どのように対応しているのかを救急体制も含めて述べていただき、24 時間体制を考える上でのヒントとなるような企画としました。ランチョン教育セミナーも学会大会両日それぞれ企画しております。大会 1 日目のランチョン教育セミナーは『次世代を担う自立した医療人の人材育成について』と題した講演を聖隷福祉事業団常務理事 背戸好廣先生にお願いしております。優秀な人材を育てて行くことは組織において非常に重要な仕事であり、そのノウハウを知り尽くした背戸先生のご講演は必聴のものであると思います。大会 2 日目のランチョン教育セミナーは浜松医科大学医学部附属病院放射線部准教授 竹原康男先生に『MRI 診断の将来』と題した講演をしていただく予定です。MRI 診断の分野ではご高名な先生であり、臨床面だけでなく研究的分野まで興味深いお話を聞くことができると思います。

さて、標題の『やらまいか』と言う変な言葉ですが、これは浜松方言で『～やろうよ』と言う能動的、且つ積極的な意味を持っています。と言う訳で、浜松開催の第 42 回中部部会学会大会に積極的に参加し、これからの実務に役立つ知識を思いっきり吸収して行って下さい。

昨年の金沢と違って 11 月の浜松、これと言って美味しい物もありませんが、会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

学術大会プログラム

11月10日(土)							11月11日(日)			
会場	第1会場 41会議室	第2/3会場 43/44会議室	第4会場 52会議室	第5会場 53会議室	第6会場 54会議室	4階 01-	第1会場 41会議室	第2会場 43会議室	第3会場 44会議室	4階 01-
8:30							参加登録受付 (コンgresセンター1階エントランス)			
9:00										
10:00	参加登録受付 (コンgresセンター1階エントランス)									
							10:30	10:30	10:30	10:30
11:00	乳房画像/ 超音波画像 合同研究会	CT/MR 合同研究会	放射線防護/ アンギオ 合同研究会	放射線治療 研究会	医療情報 システム 研究会		10:30			
12:00	ランチョン教育セミナー1(第1会場)						ランチョン教育セミナー2(第1会場)			
13:00	開会式	13:15	13:15	機器展示						
	画質特性	CT	13:45							
14:00	14:15	MRI		機器展示						
	部会年会	13:00								
15:00	15:15	13:00		機器展示						
	教育講演	撮影								
16:00	16:15	13:00		機器展示						
	パネル ディスカッ ション	超音波								
17:00	17:45	13:20		機器展示						
	(移動)	医療情報								
19:00	懇親会(ホテルコンコルド 3階 葵の間)									

研究会のご案内 【11月10日(土) 10:30～12:00】

<第1会場(41会議室)>

乳房画像 / 超音波画像合同研究会

40代の乳がん検診に超音波検査を導入されようとするなか、超音波検査に携わる人はマンモグラフィを読めるようになって欲しい、また、マンモグラフィに慣れ親しんだ人も超音波の知識も持ってさらに知識を深めてはと考える、今回は合同で研究会を開催することになりました。

“超音波、マンモグラフィの読影の基本とコツ”の講演のあと、実際の症例を丁寧に読み進んでいこうと思っています。ビギナーにたちかえって違う分野の知識を培っていただくきっかけとなればと思います。多くの皆様の参加をお待ちしています。

なお、時間の都合により研究会の途中で症例の生の写真をみていただけないと思います。事前に掲示しておきますので興味のある方はご覧になって下さい。

日時:平成19年11月10日(土)10:30～12:00
(10:00開場)

10:30～11:30

教育講演『超音波、マンモグラフィの読影の基本とコツ』

浜松医科大学放射線医学講座 那須初子先生

11:30～12:00 症例の読影

連絡先:藤枝市立総合病院 超音波科

秋山敏一 TEL 054-646-1111(内線5400)

浜松医科大学附属病院放射線部

井美恵美子 TEL 053 435-2735 (直通)

<第2,第3会場(43,44会議室)>

CT / MR合同研究会

毎年恒例となっておりますCT/MR合同研究会ですが、下記のとおり開催いたしますのでご案内いたします。

今回はCT/MRともに最新技術の紹介と言うことで企画しました。多数の皆様の参加をお待ちしております。

日時:平成19年11月10日(土)10:30～12:00
(10:00開場)

司会 辻岡勝美(藤田保健衛生大学)

櫻井康雄(名古屋大学医学部附属病院)

1) CTの最新技術紹介

GE 横河メディカルシステム株式会社 平本卓也

2) MRIの今 - 高磁場から超高磁場へ -

(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン

メディカルシステムズMR TSS 廣瀬加世子

お問合せ先

世話人代表(北陸ブロック)

富山大学附属病院放射線部 森 光一

TEL: 076(434)7814 mmm@med.u-toyama.ac.jp

(東海ブロック)浜松医科大学医学部附属病院

放射線部 竹田 浩康

TEL: 053(435)2670 takeda-ham@umin.net

<第4会場(52会議室)>

合同企画 放射線防護・アンギオ研究会

最近のFPD関連技術の進歩には目を見張るものがあり、特にFPDを用いたCone beam CTは血管撮影検査の可能性を更に広げる技術として注目されております。

今回、放射線防護・アンギオ研究会ではこのCone Beam CT技術に注目し、「Cone Beam CTを理解する」のテーマで合同にてシンポジウム形式の研究会を開催することになりました。装置メーカー担当者よりCone beam CT技術の最新情報、ならびに患者被ばくについての講演を頂き、その後はディスカッション形式で議論を進めていきたいと考えております。多数の会員諸氏のご参加をお待ちしております。

日時:平成19年11月10日(土)10:30~12:00
(10:00開場)

【シンポジウム】

『Cone beam CTを理解する』

司会 金沢大学医学部附属病院 飯田泰治
藤田保健衛生大学衛生学部 鈴木昇一

1. CBCTの最新情報、被曝線量について
 - 1) Innova3D/3D+の最新情報と今後の課題
GE Healthcare I&XI セールス&マーケティング部 Angiography MarketingGr 長
柴草 高一
 - 2) 東芝 Low Contrast Imaging について
東芝メディカルシステムズ(株) 営業本部 営業推進部 線担当 廣瀬 聖史
 - 3) XperCTとその応用 - Live 3D Guidance
Philips Electronics Japan X-ray TSS
藤田 守昭

4) DynaCTの現状と今後の展開
SIEMENS 旭メディテック本社営業部

林 昭人

2. 質疑応答

お問い合わせ先

(アンギオ研究会 東海地区代表世話人)
浜松医科大学医学部附属病院 放射線部

竹井 泰孝 ytakei-ham@umin.net

(アンギオ研究会・放射線防護研究会 北陸地区代表世話人)

金沢大学医学部附属病院 放射線部

飯田 泰治 iida@rad.m.kanazawa-u.ac.jp

(放射線防護研究会 東海地区代表世話人)
藤田保健衛生大学 衛生学部

鈴木 昇一 ssuzuki@fujita-hu.ac.jp

<第5会場(53会議室)>

放射線治療研究会

日時:平成19年11月10日(土)10:30~12:00
(10:00開場)

【テーマ】MU独立検証について考える

【シンポジウム内容】

1. 講演:「RADCALCについて」
2. 講演:「RadQ(SBPシステムズ)について」
3. MU独立検証のアンケート報告

<第6会場(54会議室)>

医療情報システム研究会

日時:平成19年11月10日(土)10:30~12:00
(10:00開場)

一般研究発表プログラム【11月11日(土)】

ランチョン教育セミナー1【12:00～12:50 第1会場 41会議室】

次世代を担う自立した医療人の人材育成について

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 常務理事 背戸好廣 先生

司会：安間 武（磐田市立総合病院）

共催：エーザイ株式会社

開会式【13:00～13:30 第1会場 41会議室】

開会挨拶 開催委員長 竹田 浩康

挨拶 静岡県放射線技師会 会長 和田 健

部会長 東村 享治

部会年会【14:15～15:15 第1会場 41会議室】

部会長挨拶・本部来賓挨拶・部会表彰・研究会報告

次期開催地(福井県)紹介

教育講演【15:15～16:15 第1会場 41会議室】

分子イメージングによる腫瘍診断の現状

講師：阪原晴海 先生（浜松医科大学放射線医学講座 教授）

司会：竹田浩康（浜松医科大学医学部附属病院）

パネルディスカッション【16:15～17:45 第1会場 41会議室】

CT 造影検査の安全確保

- 造影剤注入の安全確保と医療訴訟対策について -

司会：中屋良宏（静岡県立静岡がんセンター）

神谷正貴（磐田市立総合病院）

Commentator：阪原晴海 先生（浜松医科大学放射線医学講座 教授）

- 1) 製薬会社の立場から：添付文書の記載内容と禁忌事項について
中川裕幸（バイエル薬品株式会社）
- 2) 放射線科医の立場から：造影検査の必要性和問診の取り方について
那須初子（浜松医科大学放射線医学講座 助教）
- 3) 診療放射線技師の立場から
深澤英史（富士宮市立病院）
- 4) 造影看護師の立場から：造影剤の安全投与について
大石由美子（磐田市立総合病院看護部 主任）
- 5) 弁護士の立場から：医療訴訟対策について - 過去の事例から学ぶ -
間石成人（色川法律事務所 弁護士）

懇 親 会

【19:00～ ホテルコンコルド 3階 葵の間】

学術大会企画プログラム【11月12日(日)】

シンポジウム 1 【10:30～12:00 第1会場 41会議室】

計算アルゴリズムの基礎と臨床 - 不均質補正の考え方 -

司会：半村勝浩（静岡県立静岡がんセンター）

- 1) 治療計画装置の計算アルゴリズム - 基本理論と特性 -

佐藤清香（シー・エム・エス・ジャパン株式会社）

- 2) 治療現場における不均質補正と計画検証を考える

佐々木浩二（群馬県立県民健康科学大学 講師）

- 3) 治療医の立場から不均質補正の現状を考える

原田英幸（静岡県立静岡がんセンター放射線治療科 副医長）

ランチョン教育セミナー2【12:00～12:50 第1会場 41会議室】

MRI 診断の将来

浜松医科大学医学部附属病院放射線部 准教授 竹原康雄 先生

司会：坂本眞次（浜松医科大学医学部附属病院）

共催：バイエル薬品株式会社

シンポジウム 2 【10:30～12:00 第1会場 41会議室】

急性期脳梗塞の診断と治療

- Time is brain そのために求められる技術とは -

司会：伊藤和彦，八木 啓（聖隷浜松病院）

- 1) 急性期脳梗塞の診断と治療の実際

- 診療放射線技師に必要な技術と体制 -

原 秀（静岡市立静岡病院脳神経外科 医長）

- 2) CT 検査部門における対応 増田秀道（静岡市立静岡病院）

- 3) MR 検査部門における対応 小泉健（静岡市立静岡病院）

- 4) 血管造影部門における対応 荒井 準（袋井市立袋井市民病院）

閉 会 式 【15:00～15:30 第1会場 41会議室】

一般研究発表プログラム【11月11日(土)午後】

第1会場：41 会議室

【画像特性】13:15～13:55

座長：大垣市民病院 野口孝浩

【1】フェーディング現象がIPのエネルギー感度特性に及ぼす影響の評価

豊橋市民病院 加藤貴昭

【2】デジタルマンモグラフィにおける15MLCDの有用性の検討 - 表示拡大率の変化 -

金沢大学医学部附属病院 森下あゆ美

【3】デジタルカメラによる医療用液晶モニターの均一性測定

金沢大学医学部保健学科放射線技術科学専攻 二口政也

【4】直接変換型及び間接変換型FPDにおける画質特性の比較

金沢大学医学部保健学科放射線技術科学専攻 横井知洋

第2会場：43/44 会議室

【CT】13:15～13:45

座長：豊田地域医療センター 診療放射線科 柴田和宏

【5】Image Jを用いたEarly CT Signの描出能改善の試み

金沢大学医学部保健学科放射線技術科学専攻 伊藤憲之

【6】胸部CT画像を利用し肺血流および肺換気画像の定量解析の開発 - ファントムによる精度検証

金沢大学医学部附属病院放射線部 林則夫

【7】MSCTを用いた心機能解析の基礎的検討

名古屋大学医学部附属病院医療技術部放射線部門 飯田葉子

【MRI】13:45～14:15 座長：磐田市立総合病院 放射線技術科 松下浩基

【8】BLADE における Chemical shift の検討

名古屋大学医学部附属病院医療技術部放射線部門 田中宏明

【9】ガンマナイフ治療における T1WI と SPGR の検討

名古屋共立病院画像技術室画像技術課 中澤寿人

【10】定位脳手術に用いる MR 画像の信頼性

名古屋大学医学部附属病院医療技術部放射線部門 安藤康生

一般研究発表プログラム【11月11日(日)午前】

第1会場：41 会議室

【マンモグラフィ】9:10～10:10 座長:岐阜医療科学大学保健科学部放射線技術学科
篠原範充

【11】三重県における乳がん検診の動向

- 三重乳がん検診ネットワークシステムの収集データを用いた分析 -

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部放射線技術科学科 清水理絵

【12】骨シンチグラフィ検査製剤投与後の患者からの線がマンモグラフィ用 IP に
及ぼす影響

鈴鹿医療科学大学保健衛生学部放射線技術科学科 古賀久美子

【13】デジタルマンモグラフィシステムにおける画質特性の比較

磐田市立総合病院 大杉正典

【14】FPDの乳房撮影条件における感度特性の検討

金沢大学医学部保健学科 近藤大祐

【15】マンモグラフィ装置間における描出能の検討～ファントム画像と臨床画像より～

医療法人豊田会刈谷豊田総合病院放射線技術科 小川慶子

【16】自動線量露出機構の設定位置の違いが乳腺画像に与える影響

名古屋第二赤十字病院 浅岡由紀枝

第2会場：43/44 会議室

【計測・防護】9:10～9:50 座長:鈴鹿医療科学大学保健衛生学部放射線技術科
学科 武藤裕衣

【17】嚥下運動 CT 検査における甲状腺線量と実効線量の評価

藤田保健衛生大学大学院保健学研究科 伊藤祐介

【18】診断領域の漏えい線量評価に対する検討

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科 加藤美穂

【19】I-125 シードエネルギー領域における蛍光ガラス線量計の基礎的検討

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科 野沢崇

【20】2007年診断X線装置の出力調査と患者線量評価

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科 鈴木昇一

【計測・防護】9:50～10:30

座長:藤田保健衛生大学病院 小林正尚

【21】核医学検査における被曝線量算定ソフト作成の試み

富山大学附属病院 小林恵

【22】PET 検査における診療放射線技師の被ばく低減の検討

浜松光医学財団浜松 PET 検診センター 佐藤真由美

【23】OSL を利用した DOT 線量計の基本評価

金沢大学保健学科 橋本昌幸

【24】MDCT を用いた場合の撮影範囲外の被曝について

金沢大学医学部保健学科 上野博之

第3会場：44 会議室

【治療】9:10～9:40

座長:三重大学医学部附属病院 中央放射線部 田中充

【25】I-125 前立腺癌密封小線源挿入患者におけるシードを用いた前立腺浮腫低減定量
評価

藤田保健衛生大学大学院保健学研究科 穂満華香

【26】Novalis による頭頸部定位照射の固定整位の検討

藤田保健衛生大学大学院保健学研究科 田野倉亮

【27】マルチリーフコリメータを用いた不整形照射野の散乱係数の検討

豊橋市民病院 島田秀樹

【核医学】9:40～10:40

座長:関中央病院 吉村成雅

【28】PET/CT の撮影法・再構成法に関する基礎的検討

金沢大学医学部附属病院 木津寛人

【29】肺血流シンチにおけるダイナミック像を利用した右左シャント率測定法の検討

豊橋市民病院放射線技術室 市川肇

【30】Sr 摂取率予測のための骨 SPECT における再構成パラメータの基礎的検討

豊橋市民病院 山田さやか

一般研究発表プログラム【11月11日(日)午後】

第1会場：41 会議室

【CT】13:00～13:50 座長：三重大学医学部附属病院 中央放射線部 永澤直樹

【31】IVR-64 列 CT の使用経験

金沢大学医学部附属病院 三井渉

【32】被検者ポジショニング時のずれが CT-AEC に及ぼす影響について

- 胴体型ファントムによる基礎的検討 -

金沢大学医学部附属病院 松原孝祐

【33】頭部および眼窩 CT 検査における撮影プロトコルの検討

聖隷浜松病院放射線部 鈴木隆之

【34】CT 検査における非線形ノイズ低減フィルタ（量子フィルタ）の利用

第一報 物理特性の把握

藤田保健衛生大学病院放射線部 河野泰成

【35】CT 検査における非線形ノイズ低減フィルタ（量子フィルタ）の利用

第二報 被曝低減効果の検討

藤田保健衛生大学病院放射線部 中根和久

第2会場：43 会議室

【一般撮影】13:00～13:30 座長：安城更生病院 放射線技術科 小田耕司

【36】救急での頸椎カラー装着患者の頸椎開口位 XP 撮影角度の検討

福井大学医学部附属病院放射線部 大越優祐

【37】動画対応フラットパネルディテクタ (FPD) を用いた肩関節 X 線動態検査法の開発

金沢大学医学部保健学科 作田啓太

【38】X 線動画像による底背屈運動中の足関節動態解析

金沢大学医学部保健学科 嶋田真人

第3会場：44 会議室

【超音波】13:00～13:20

座長：静岡済生会総合病院 放射線技術科 奥川令

【39】Sonazoid を用いた RFA 治療後効果判定に対する検討

医療法人豊田会刈谷豊田総合病院放射線技術科 梶村友貴

【40】超音波画像法を用いた嚥下機能評価

金沢大学医学部保健学科 友利敦

【医療情報】13:20～13:40

座長：福井大学医学部附属病院 放射線部 上坂秀樹

**【41】オープンソース CMS(Contents Management System)を利用した病院情報システム
ポータル構築**

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科 伊藤岳人

【42】診療報酬改訂及び DPC に対応した CT 予約枠変更後の結果に対する検討

医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 河野泰久

社団法人 日本放射線技術学会中部部会長 東村 享治

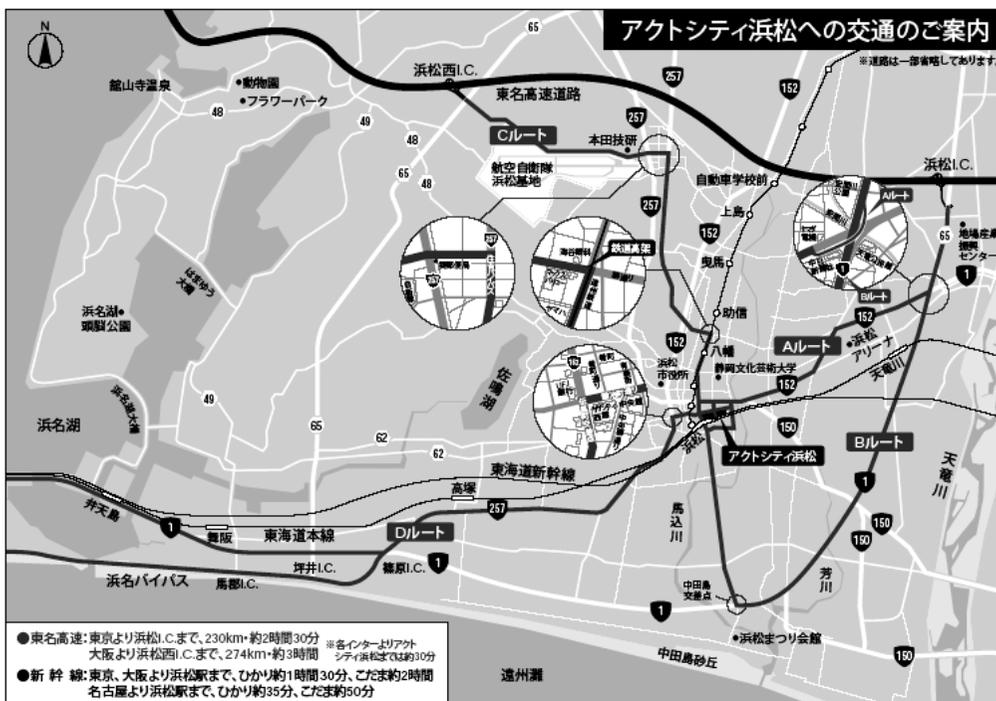
社団法人 静岡県放射線技師会長 和田 健

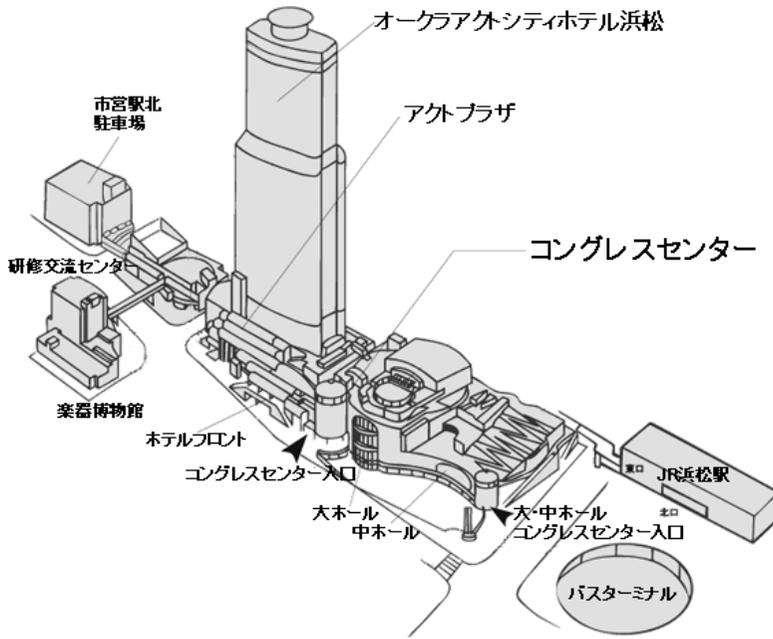
開催実行委員長 竹田 浩康

実行委員

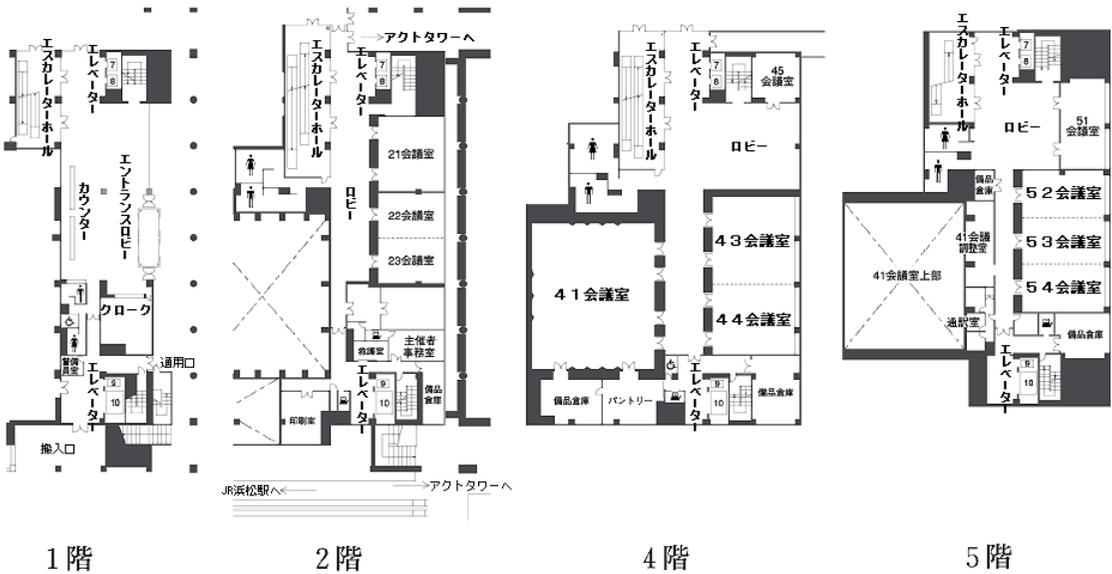
安間 武, 坂本 眞次, 伊藤 雅夫, 背戸 好廣, 土屋 甲司, 窪野 久行,
半村 勝浩, 村田 守, 鈴木 秀治, 竹井 泰孝, 野村 孝之, 彦坂 安奈,
宮崎 健介, 松下 浩基, 坂本 昌隆, 小嶋 友, 間湊 景子, 杉村 正義,
天野 仁志, 黒田 紗弓, 村松 真也, 大石 直樹, 川手 政徳, 水野 洋行,
杉村 洋祐, 岡部 理史, 藤下 容子, 新村 秀俊, 太田 達也, 大形 美咲,
村松 晴人, 毛受 義孝, 寺部 裕子, 河合 陽子, 水田 真一, 西尾 孝司,
青木 麻紀, 蛭田 淳也, 加藤 浩千, 松上 美咲, 長島 勇貴, 畑山 郁美,
石原 和浩, 鈴木 純一, 栗田 仁一, 斉藤 忍, 疋野 奈央子, 奥川 令,
藤原 仁

会場案内

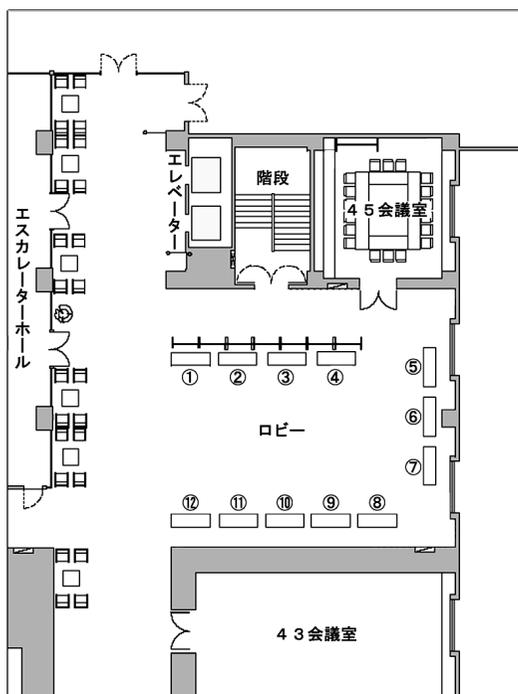




コンgressセンター



機器展示会場



バイエル薬品株式会社
 日本メジフィジックス株式会社
 第一三共株式会社
 (株)フィリップスエレクトロニクス
 ジャパンメディカルシステムズ
 富士フィルムメディカル株式会社
 東芝メディカルシステムズ株式会社
 株式会社ナナオ
 コニカミノルタヘルスケア株式会社
 GE横河メディカルシステム株式会社
 コドニックス・リミテッド株式会社
 シーメンス旭メディテック株式会社
 株式会社 根本杏林堂

中部部会 協賛会社 御芳名(順不同)

タイコヘルスケアジャパン株式会社
 東芝メディカル株式会社
 (株)フィリップスエレクトロニクスジャパンメディカルシステムズ
 コニカミノルタメディカル株式会社
 富士フィルムメディカル株式会社
 株式会社 ナナオ
 GE横河メディカルシステム株式会社
 バイエル薬品株式会社
 第一三共株式会社
 日本メジフィジックス株式会社
 シーメンス旭メディテック株式会社
 コドニックス・リミテッド株式会社
 エーザイ株式会社
 株式会社 島津製作所
 株式会社 日立メディコ
 (株)エルクコーポレーション
 日本電子応用株式会社
 株式会社 根本杏林堂



研究会のご案内

1. 第26回中部部会乳房画像研究会

女性のがん罹患率では乳がんが第一位となり、乳がんによる死亡者も年々増加しています。しかし、その一方で、マンモグラフィによる乳がん検診によってがんの早期発見が可能となり、5年生存率が増加していることも事実です。乳がん検診携わる我々診療放射線技師がより確かな撮影技術とより高度な知識を身に付け、乳がんの早期発見に寄与することが期待されています。そこで、中部部会乳房画像研究会では下記のごとく研究会を開催します。多数の参加をお待ちしています。また、この研究会は12月に富山赤十字病院で行なわれる、北陸乳房画像研究会の事前講習会も兼ねています。講習会に受講される方は、出来るだけ参加をお願いします。

日時：2007年11月3日 開場 14:00～17:00
会場：富山市民病院 3F 講堂

【内容】

1. デジタルマンモグラフィの基礎と精度管理
シーメンス旭メディテック 大塚 恭一 氏
2. マンモグラフィ読影の基礎
富山市民病院 外科部長 福島 亘 先生
3. フィルムリーディング(10症例程度)

会費：会員およびマンモグラフィ講習会参加者
500円，その他 1000円

* 今回の研究会は12月1日～2日に富山赤十字病院で行われる北陸乳房画像研究会マンモグラフィ講習会 中部部会後援 の事前講習会も兼ねています。講習会に参加される方は出来るだけ参加願います。

問い合わせ先：

〒939-0798 富山県下新川郡朝日町泊 477
あさひ総合病院 放射線技術科 安達 登志樹
Tel: 0765-83-1160 Fax.: 0765-82-0401
e-mail : adachitoshiki@yahoo.co.jp

第10回超音波画像研究会(中部超音波検査フォーラム)

頸動脈エコー実技講習会(総頸動脈・内頸動脈・外頸動脈・椎骨動脈)

日時 平成19年11月18日 13:00～16:00

定員 30名 受講料 2000円

会場 ガーデンビル 2階及び3階 会議室

<http://www.officepark-net.jp/map/map05.html>